



7月13日(土)、中3・高1を対象に「若駒キャリア塾(職業講話)」を開催しました。

生徒は、医療(医師、薬剤師、看護師、臨床心理士)、エンジニア、研究員、建築、ツアーコンダクター、パッケージデザイナー、新聞記者、公認心理士、公務員(玉名市職員)の12系統から2系統を選びお話をうかがいました。感想をご紹介します。

今日は、色々なことを教えてくださりありがとうございました。夢の実現には、特別なことをしなくていいと知って驚きました。情報を集めたり、目標を持ったり、言い訳をしなかったり、感謝をしたり、決意をしたりすることが、夢の実現につながると分かりました。私は、この中では情報を集めるということが、特にできていないので、今から取り組んでいこうと思います。



また、勉強面では、今日やったことを次の日に軽くやるだけで、記憶に定着していくということも分かりました。自分の夢に向かって頑張ろうと思います。

(3年 宗くん)

今回、ご講演いただき、ありがとうございました。私は、理系ではないけれど、生物が得意だったので講座「研究員」を選びました。難しい話をされるのかと思いましたが、分かりやすく丁寧なお話だったので、研究員やKMバイオロジクスのことについて、よく分かりました。また、KMバイオロジクスのように研究をする会社は、ザ・理系というような人だけが入れる会社だと思っていましたが、そこまでではないことが分かったので、これから将来に向けて勉強する内容や就職するときに参考にしたいです。

(3年 佐藤さん)

次は、中3の道徳の時間からご紹介です。



道徳の時間 『その子の世界、私の世界』

チョコレートの甘さの裏にある現実

- 日本が輸入しているチョコレートの原料であるカカオ豆の8割が、サハラ以南のアフリカ産である現実。
- サハラ以南のアフリカ産のカカオ豆は、背景に児童労働があるため、安価である現実。
- サハラ以南のアフリカでは、5人に1人が児童労働をしている現実。

「新しい道徳」(東京書籍)より抜粋

〈みんなの感想より〉

- 母親と自分たちのために、きつい仕事を毎日していることを知って、生きることは簡単なことではないと考えました。でも、夢をもって生活していて、希望を忘れていない兄弟がとてもすごいと思います。また、いつも食べていたチョコレートにたくさんの子もたちの努力があったことを知って、今の生活を当たり前にはいけないなと思いました。(北さん)
- まだ自分よりもずっと幼い、11歳や6歳のこどもが生きるために働いているということを知って、とても驚いたし、悲しいことだと感じました。私が小学生の頃は、自分が働くことなんて、とてもじゃないけど考えられませんでした。そういう事実があることを、きちんと覚えていかなければならないと感じました。(近縄さん)

若駒キャリア塾(職業講話)で考えたことと、道徳の時間で考えたことが、心の深いところでつながっていくのではないかと思います。それぞれの感想を読み、そう感じています。2019.7.16 副校長 山部

「玉高附中通信WAKAGOMARU」は、玉名高校・玉名高校附属中学校ホームページに掲載しています。

URL : <http://sh.higo.ed.jp/tamana/>